

令和元年度 ひきこもり支援状況等調査【北海道分】

I 市町村の状況

1 市町村におけるひきこもり者の把握・支援状況 n=178

	把握市町村数	把握数	支援有市町村数	支援者数		
R1	94	53%	1011	74	42%	663
H30	94	53%	766	76	43%	580

* R1 年齢階層別把握数・支援者数

年齢階層	把握数				支援者数			支援につながった割合(B÷A)	
	総数(A)	男	女	総数(B)	男	女			
15歳未満	65	6.4%	40	25	62	9.4%	39	23	95.4%
15～19歳	87	8.6%	49	38	72	10.9%	42	30	82.8%
20～29歳	208	20.6%	138	70	145	21.9%	97	48	69.7%
30～39歳	173	17.1%	128	45	112	16.9%	85	27	64.7%
40～49歳	204	20.2%	146	58	118	17.8%	87	31	57.8%
50～59歳	153	15.1%	118	35	88	13.3%	67	21	57.5%
60～69歳	52	5.1%	33	19	34	5.1%	20	14	65.4%
70歳以上	20	2.0%	9	11	13	2.0%	2	11	65.0%
年齢不詳	49	4.8%	36	13	19	2.9%	16	3	38.8%
総数	1011	100%	697	314	663	100%	455	208	65.6%

2 市町村におけるひきこもり当事者及び家族会等の把握状況 n=178

	把握有		内訳			計
			当事者	家族会	その他	
R1	21	11.8%	6	14	8	28
H30	25	14.0%	6	19	10	35

3 ひきこもりサポート事業 n=178

	実施		未実施			
			検討中		未検討・実施予定なし	
R2	2	1.1%	10	5.6%	166	93.3%
R1	1	0.5%	3	1.7%	174	97.8%

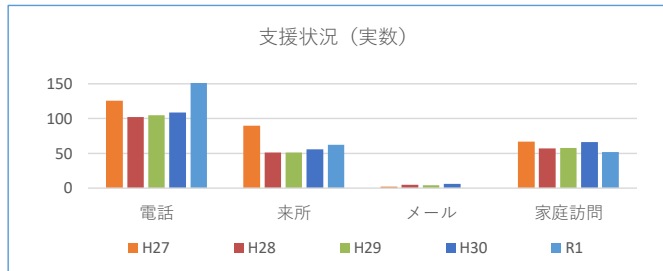
4 市町村における単独の取組 n=178

	ひきこもり地域支援センター設置運営事業の類似事業						ひきこもりサポーター養成研修事業の類似事業					
	有		無		未記入		有		無		未記入	
R2	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%
R1	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%	0	0.0%	178	100.0%	0	0.0%

II 保健所・精神保健福祉センターの状況

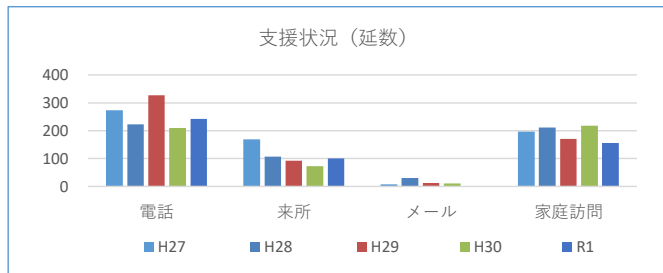
1 支援実績(精神保健福祉センターは電話・来所のみ)

支援方法	H27	H28	H29	H30	R1
電話	126	102	105	109	156
来所	90	51	51	56	62
メール	2	5	4	6	0
家庭訪問	67	57	58	66	52
計	285	215	218	237	270



2 支援延数

支援方法	H27	H28	H29	H30	R1
電話	273	222	327	209	243
来所	169	107	92	73	101
メール	8	30	12	10	0
家庭訪問	196	212	171	217	156
計	646	571	602	509	500



3 保健所におけるひきこもり当事者及び家族会等の把握状況

区分	把握有		内訳			計
			当事者	家族会	その他	
保健所	20	76.9%	3	16	14	33
センター	1	100%	0	1	0	1

4 保健所における支援上の課題・地域の課題等(抜粋)※詳細は集計表参照

- 事例が潜在化しており、相談や支援につながりにくい。
- 8050問題を抱え、問題を家庭内で抱え込んでいるケースがある。
- 継続した支援が受けられるよう、関係機関との連携が必要。
- 早期に相談につながる仕組みづくり。
- 当事者は支援を求めている場合も多く、問題への介入や支援の継続が難しい。
- ひきこもり期間の長期化により、問題が複雑化しているケースが少なくない。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、支援業務に支障をきたしている。